

安曇野市地球温暖化防止実行計画に係る 平成27年度 取り組み結果

総括

安曇野市地球温暖化防止実行計画では、市の事務・事業における温室効果ガス排出量を平成20年度を基準年度として、平成27年度に6.1%以上削減することを目標に平成21年4月より削減の取り組みがされてきました。平成27年度の取り組み結果について、二酸化炭素(CO₂)排出量を基準年度と比較します。

CO₂排出量は基準年度と比較して、約1.30%(93,085kg)削減という結果になりました。

なお、この結果に影響のあった外的な(省エネ努力とは関係の薄い)要因は以下のとおりと考えられます。

・増加要因

- ①基準年度以降の、保育園、交流学习センター、給食センター、本庁舎などの施設の新築や改築
- ②計算方法の変更による増加(所管部署の変更により、按分計算の方法等が変わった)
(例:堀金総合福祉センター…所管課が変更になった際、これまで社協と折半していた電気料支払い
⇒社協へ面積按分の上請求、という方法に変更した。これにより市の使用量が正確に算出できるようになった。)

・減少要因

- ①本庁舎への業務集約に伴う、各支所等の使用率の減少
- ②施設の改築等の工事のための、施設使用率の一時的な減少(三郷公民館、豊科公民館等)

上記の外的要因を含め、全体として比較した場合に、基準年度比の目標達成とはならなかったものの、基準年度比で約1%、対前年度比では約3%の減少となりました。LPGや軽油の減少に加えて、特にガソリン使用量の減少が目立ちます。本庁舎への業務集約により、公用車の台数や使用頻度が大幅に減少したことが要因のひとつと考えられます。

電気使用量については、基準年度比では施設の新築や電化設備の改築の影響により増加したものの、対前年度比では微減となっています。全体に占める割合も非常に大きいことから、削減の余地がまだまだあると考えられます。

なお、重油の大幅減については、唯一使用していた三郷庁舎(保健センター含む)での使用減によるものです。

○H27年度二酸化炭素排出量および基準年度・前年度との比較

エネルギー種別	平成27年度			(基準)平成20年度		(前年)平成26年度	
	使用量 ①	係数 ②	CO ₂ 排出量 (kg) (①×②) ③ (全体に占める割合)	CO ₂ 排出量 (kg) ④	H20 年度比 (③÷④) ⑤	CO ₂ 排出量 (kg) ⑥	H26 年度比 (③÷⑥) ⑦
電気	10,632,737 Kwh	0.481	5,114,346 (72.46%)	4,501,800	13.61%	5,180,290	-1.27%
灯油	498,058 l	2.490	1,240,164 (17.57%)	1,282,490	-3.30%	1,173,455	5.68%
LPG	73,058 m ³	6.000	438,346 (6.21%)	500,151	-12.36%	449,368	-2.45%
重油	550 l	2.710	1,491 (0.02%)	443,757	-99.66%	90,460	-98.35%
ガソリン	63,290 l	2.320	146,832 (2.08%)	281,990	-47.93%	278,441	-47.27%
軽油	44,691 l	2.620	117,091 (1.66%)	141,167	-17.06%	122,240	-4.21%
合計			7,058,270 (100.00%)	7,151,355	-1.30%	7,294,254	-3.24%

